

# 平成20年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と20年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	市民保養施設利用事業	所管	市民相談課
			TEL 2998-9092

事業の目的 (何の為に 行うか)	心身のリフレッシュを図り、市民の健康増進を目的とする。
------------------------	-----------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民(19年度は4歳以上)		数値	単位
		対象とした数	340203	人
		実際の利用数	3191	人

活動の内容 (何を したか)	・(指定保養施設利用補助金交付事業)市民保養施設の利用に対し、補助金を交付する。年間1泊利用を限度に大人2,500円、子ども(4歳以上)1,500円を交付する。(なお、平成21年度は大人2,000円、子ども1,500円に改めた。) ・(所沢パスポート券事業(所沢市あったか湯・遊・楽事業))所沢市民が四万温泉又は水上温泉に宿泊する際、市が発行する所沢パスポート券を提示することにより宿泊料金の割引(10%)が受けられる事業である。所沢パスポート券は、年度内何度でも利用可能であるが、本制度においては、市民及び対象保養施設に対する補助金の交付は行わない。なお、所沢パスポート券事業は、愛称として『あったか湯・遊・楽事業』とも呼んでいる。											
	活動実績	項目名	補助金利用者数	単位	人	項目名	パスポート券利用者数	単位	人	項目名		単位
					2,491				700			

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	7,329	6,228	18,316	53.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	保養施設利用割合	各利用者/市民×100	1.0	0.9	94%

今後の 方向性	所管課 評価	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし * その他〔一部縮小〕				
			終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	現状どおり		増額	* 減額	終了	
	部内 チェック	部内チェックの有無	* 有り	部主要事業の位置づけ	* 有り 無し	無し	
二次 評価	二次評価実施の有無		* 有り⇒下記へ		無し⇒終了		
	優先度 B 重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業						

# 平成 21 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード	担当	部課コード	040400	TEL	2998-9092
	040401	市民保養施設利用事業	市民相談課			
開始年度	平成 4 年度	→	終了年度	平成 年度		

②事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
分野別計画・指針	・所沢市指定市民保養施設利用補助金(利用券)交付要綱			
関連・類似事業	国民健康保険保養施設			
総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち(社会福祉の充実)	施策	6節 保健・医療
	中柱	2 生涯を通じた健康づくり	小柱	(6) 心の健康づくり事業の推進
	・H20市民意識調査における施策の順位…43施策中 9 位		・実施計画における位置づけ… H20 ○ H21 B	

概要	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード	1111	市民の知りたい情報の提供
事業開始の背景	所沢市指定市民保養施設利用補助金交付事業については、夢科山荘の廃止に伴う代替制度として平成4年度から事業を開始した。また、所沢バスポート券事業については、将来的に保養施設事業を一元化するためのものとして、現行の指定市民保養施設利用補助金交付事業を廃止するまでの間、併行して平成20年度から開始した。なお、所沢バスポート券事業とは、『所沢市民が四方温泉又は水上温泉に宿泊する際、市が発行する所沢バスポート券を提示することにより宿泊料金の割引(10%)が受けられる事業である。所沢バスポート券事業は、愛称として『所沢市あったか湯・遊・楽事業』とも呼んでいる。			

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)	心身のリフレッシュを図り、市民の健康増進を目的とする。			
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方 市民(19年度は4歳以上) 市民保養施設利用人数(補助事業利用者数+バスポート券利用者)			
	対象数	単位	平成 19 年度	327,132	人
			平成 20 年度	340,203	人
	事業の具体的な内容及び実施方法	利用数	単位	平成 19 年度	2,378
	(指定保養施設利用補助金交付事業)市民保養施設の利用に対し、補助金を交付する。年間1泊利用を限度に大人2,500円、子ども(4歳以上)1,500円を交付する。(なお、平成21年度は大人2,000円、子ども1,500円に改めた。)			平成 20 年度	3,191
	(所沢バスポート券事業(所沢市あったか湯・遊・楽事業))所沢市民が四方温泉又は水上温泉に宿泊する際、市が発行する所沢バスポート券を提示することにより宿泊料金の割引(10%)が受けられる事業である。所沢バスポート券は、年度内何年度でも利用可能であるが、本制度においては、市民及び対象保養施設に対する補助金の交付は行わない。なお、所沢バスポート券事業は、愛称として『あったか湯・遊・楽事業』とも呼んでいる。				

④前年評価と改善点	平成20年度事務事業評価結果(平成21年度の方向性)	← 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 →
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 [ 廃止・縮小 ] )
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成20年度中に改善した点	
	指定保養施設利用補助金交付事業に併行する市民福利厚生事業として、平成20年6月から所沢バスポート券事業を開始した。所沢バスポート券事業(所沢市あったか湯・遊・楽事業)は、指定保養施設利用補助金交付事業と異なり、補助金の交付は行わない事業である。	

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	平成 21 年度 (千円)	
	当初予算		7,976	7,329	5,282	
	決 算 (見込み含む)		5,854	6,228		
		(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 )	( 人 ) ( 人 )		
	正規職員人件費		1.28 人 12,024	1.28 人 12,088		
	公債費					
	事業費合計		17,878	18,316		
	財源内訳	一般財源		17,878	18,316	5,282
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)		52.7	53.8		
	利用数一単位あたり(単位:円)		7,518.2	5,740.0		

⑥指	項目名	計算方法	単位	H 19	H 20	H21見込み	将来目標
	活動実績	補助金利用者数	補助金利用者数	人	2378	2491	2500
		バスポート券利用者数	バスポート券利用者数	人		700	750
	成果分析	保養施設利用割合	各利用者/市民×100	%	目標値 1	1	
				%	実績 0.73	0.94	実績値の拡大を図る1
				%	達成率 73.0	94.0	実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		実施主体	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統合等が必要なし		受益と負担の関係	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	明らかとなった課題	バスポート券事業の開始により、従来の指定市民保養施設利用補助事業の抜本的な見直しが必要となった。					
⑧部内チェック	今期目標項目(何を、具体的に)	達成水準(どこまで)		時期(いつまで)			
	平成21年度における目標設定	所沢市指定市民保養施設利用補助金交付事業の縮小又は廃止	平成21年度中に縮小又は廃止に向けた検討を行う。	平成21年9月			
		バスポート券事業(あったか湯・遊・楽事業)の拡大推進	事業開始2年目を迎える「バスポート券事業(あったか湯・遊・楽事業)」対象施設の拡大を図る。	平成22年3月			
	平成22年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 [ 一部縮小 ] )					
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	現在、指定市民保養施設利用補助事業については、平成24年度までには廃止することとしているが、廃止に向けた手法やバスポート券事業(あったか湯・遊・楽事業)との兼ね合いなどを精査する必要がある。また、バスポート券事業(あったか湯・遊・楽事業)については、事業効果等を見極めながら、適宜、改善を図っていく。					
	評価日	H21.5.15	記入者職氏名	市民相談課長 尾村 俊和			

⑧部内チェック	1 部内チェックの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	2 優先事業一覧への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	3 優先事業一覧における順位	3 位
	評価理由	景気の低迷に伴い、先行きの不透明感・閉塞感があるが、市民が英気を養い、元気を取り戻すことによって、活力と魅力あふれたまちづくりをすすめることができる。本事業は、市民の福利厚生に関する事業であり、活力あるまちづくりを底から支えるものである。評価日:平成21年7月27日				

⑨二次評価	次年度実施計画策定に向けての事前評価	部内優先順位… 3 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由	「あったか湯・遊・楽事業」は、昨年度より実施され、市民に定着しつつあるとともに、対象施設の拡大により利用者の増加が見込まれる。また、施設利用補助事業と比較してもその利用のしやすさから、今後も「引き続き実施」すべきと評価した。なお、施設利用補助事業の廃止については、積極的に取り組みを進められた。					
	評価日	H21.9.4					

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ…	無	計画コード	
	施策の体系				
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ…	無	計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
	施策の方向				